

事業評価個票（事業実施：令和2年度）

（様式2）

事業名	農林業専門職大学等キャンパス整備事業費					活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
部局名	農林水産部						令和6年4月開学に向けたキャンパス整備事業の進捗（事業費ベース）	活動実績	%	2.9				
担当課名	農政企画課							当初見込み	%	4.2	8.7	32.7	97.0	99.4
事業開始年度	令和2年度		事業終了(予定)年度	令和7年度			活動実績							
総合発展計画実施計画の位置付け	政策の柱、政策	[政策の柱2] 競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化 [政策1] やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成					成果指標（所管部局の分析）		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	施策	[施策2] 高度人材の育成・活用						成果実績	人	—				
	目標指標	専門職大学への入学者数		40人(R6)		専門職大学への入学者数	目標値	人	—	—	—	—	40	
事業の目的	明日の農林業を担う高度な人材を育成するため、専門職大学を設置することとしており、最短で令和6年4月の開学に向けて、大学キャンパスの整備を進める。					達成度	%	—						
事業概要	①農林大学校旧学生寮の解体 専門職大学は、新庄市にある現在の農林大学校敷地内の旧学生寮所在地に設置する予定。専門職大学校舎を建設するに先立ち、旧学生寮の解体を行う。 ②専門職大学等のキャンパス整備 最短で令和6年4月開学に向け、専門職大学のキャンパス整備を進める。専門職大学と一体的に運営することとしている農林大学校については、施設の老朽化が進んでいることから、専門職大学と農林大学校を一体的に整備する。 【整備するもの】 大学校舎、現場実習用教室、園芸ハウス、畜舎、駐車場、実習・実験用設備、図書 等					成果実績								
						目標値								
						達成度	%							
						達成度	%							
活動指標及び成果指標設定の考え方														
本事業は、大学キャンパスの整備を行うものであることから、活動指標については「令和6年4月開学に向けた事業の進捗」としている。成果指標については、大学を設置する目的が明日の農林業を担う高度な人材の育成であることから、「専門職大学の入学者数」とし、現在想定している入学定員である40名を目標値として設定した。														
事業所管部局による評価・検証（令和3年7月）														
項目								評価		評価に関する説明				
事業の必要性	事業の目的が県民や社会のニーズを的確に反映し、成果目標の明確な達成手段として位置づけられ、優先度の高い事業となっているか。また、市町村・民間等に委ねることができない事業なのか。							A	農林業を取り巻く社会経済情勢の変化・課題に対応していくことができる高度な人材の育成が不可欠である。また、農林業の担い手養成は農林業振興施策の主要な柱の一つであり、県として責任をもって行う必要がある。					
事業の効率性	支出先の選定や受益者との負担関係は妥当であるか。							A	農林大学校旧学生寮の解体工事は一般競争入札方式により、専門職大学校舎の新築工事設計業務は公募型簡易プロポーザル方式により、工事請負業者・設計業務を委託する設計者の選定を行っている。					
事業の有効性（達成度）	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。また、類似の事業がある場合、他部局等と適切な役割分担を行っているか。							A	専門職大学のキャンパス整備へのPFI手法の導入について、類似のPFI活用例（寒河江工業高校改築等）を参考に検討したが、導入可能性調査等の諸手続に相当の時間を必要とすること（寒河江工業高校の場合、導入可能性調査から校舎竣工まで6年間の予定）が明らかとなり、当初開学目標としていた令和5年4月（キャンパス整備事業開始時点で残り3年間）に間に合わせる事が困難であったため、県直営方式によることとした。					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。また、整備された施設や成果物などは十分に活用されているか。							C	大学校舎の新築工事設計業務（令和2～3年度債務負担行為設定済）については、基本設計の進捗が遅れたため、その出来高に対応する部分を令和3年度へ繰り越したが、当初の予定どおり、令和3年度内の設計完了を見込んでいる。					
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。							—	令和2年度の成果目標なし。					
財源内訳 (単位:千円)	国庫支出金													
	県債		126,700	204,500										
	その他特定財源													
	一般財源		81,333	22,796										
	計		208,033	227,296	—	—	—							
課題・改善点 専門職大学は、当初、令和5年4月開学を目標に準備を進めてきたが、コロナ禍により大学教員の招へい活動に影響が生じたことなどから、開学時期が少なくとも1年程度遅れることとなった。最短で令和6年4月の開学に向け、大学校舎の完成が間に合うよう、校舎の設計業務を進めていく。														

(評価基準)

A:目標を上回る成果、活動見込を上回って達成(100%以上)/B:概ね目標どおりの成果、活動見込を概ね達成(80~99%)/C:目標を下回る成果、活動見込を下回った(79%以下)

農林業専門職大学の開学に向けたキャンパス整備等の推進【拡充】

252,893千円

目的

- 農林業専門職大学の令和5年4月開学を目指し、令和2年度は、専門職大学の設置に向けた基本計画の検討や、大学校舎の設計、大学校舎の建設予定地にある農林大学校旧学生寮の解体を行う。

○ 位置図



事業内容

- ① 農林業専門職大学設置推進事業費 18,895千円
 - ・ 学部学科構成、カリキュラム編成、教員の体制、施設・設備など、大学設置の具体的な内容を定める基本計画の検討

- ② 農林業専門職大学等キャンパス整備事業費【新規】 233,998千円

- ・ 大学校舎の基本・実施設計 (令和2年度から3年度の2ヶ年で実施)
- ・ 農林大学校旧学生寮の解体 (令和2年度から3年度の2ヶ年で実施)

○ スケジュール

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
解体寮	解体工事			令和5年4月開学
新校舎	基本・実施設計		校舎本体工事	
大学設置		R3.10 大学設置認可申請	R4.8 大学設置認可	